

頸部の手術を受けられる患者さんへ

様

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承下さい。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

担当医

説明看護師

月日	/		/		/	/	/ ~ /	/
経過	入院日	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3~5日目	術後6日目 退院日
目標	手術を受ける準備ができる。		痛みのコントロールができて いる。 安静を守ることができている。					→ 退院後の生活の注意点を 知っている。
処置	弾性ストッキングのサイズを測ります。	指輪などの貴金属類、コンタクトレンズ、入れ歯などは外します。弾性ストッキングを履きます。	手術創の周囲に管が入ってくる ことがあります。		診察（午前） 歩行ができれば弾性ストッキングを脱ぎます。	創部の管は術後2~3日に抜く予定ですが、管からの量によって抜く日は前後します。 		
点滴			病棟/手術室から点滴をします。→		寝る前に点滴が一時終了になります。	食事の摂取状況に応じて点滴の針を抜きます。		
お薬	普段飲んでいる薬を確認します。お薬とお薬手帳を持参のうえ、看護師にお渡し下さい。				必要に応じて、止血剤、鎮痛剤、抗生剤の飲み薬が処方されます。 			
検査								
食事	夕食までとれます。21時以降は何も食べたり飲んだりしないで下さい。		何も食べたり飲んだりしないで下さい。 		軟らかめの食事から始めます。 			
安静度	制限はありません。		術後4時間はベッド上でなるべく横向きの姿勢で寝て過ごして下さい。4時間たったら、看護師が付き添いのもとトイレまで歩くことができます。		制限はありません。			
排泄			尿の管が入ってくる ことがあります。歩行ができれば抜きます。 					
清潔	シャワー浴 				創部に管が入っている時は下半身のみシャワー浴ができます。出血防止のため、お湯は十分ぬるめにして下さい。		創部の管が抜けた後からシャワー浴ができます。 	
説明指導	病棟の案内、入院時のオリエンテーションをします。入院や手術に必要な書類の確認をします。		 移動の際は創部の管は袋に入れるようにして下さい。					診察後に退院になります。退院時の書類をお渡しし、次回外来予約と退院の手続きについて説明します。

済生会横浜市東部病院 耳鼻咽喉科 2015年4月1日改訂



退院後は安静の制限はありませんが、激しい運動は避けて下さい。